



夢への挑戦

最終合格先

警視庁警察官Ⅰ類・神奈川県警察官A
東京消防庁消防官Ⅰ類・横浜市消防局大卒程度(4位合格)

小川 龍誠 さん
日本大学 法学部
(在学中合格)

受講コース

総合本科生

メディア

教室＋Webフォロー講座 4月入学

校舎

水道橋校

▶ 警察官を目指したきっかけ・理由

幼い頃から道路を颯爽と走り、取り締まりを行う白バイ隊員に憧れを持っていました。大学生になり、中学で仲の良かった友人をバイクの事故で亡くし、悲惨な交通事故によって悲しむ人を一人でも多く減らしたいと強く思い、警察官を目指しました。また、採用説明会やインターン、所属する防犯ボランティアでの活動を通し、地域の安全・安心のために影でたゆまぬ努力をする警察官の存在を知り、憧れが目標に変わったことも警察官を目指した理由の一つです。

▶ TAC を選んだ理由

大学の野球の先輩がTACに通っており、教材やレジュメを見せていただいた際に大変分かりやすく、私もここで勉強したいと思ったことがきっかけです。また、通いやすさ、講師の方の熱心さ、充実してフォロー制度に魅力を感じ、体験入校を通しTACへの入校を決めました。

▶ 教養試験対策

高配点の数的処理は、毎日5問でも良いので、継続して解き続けること大切だと思います。ただ解いて答え合わせをするのではなく、問題に応じた解法の手順やポイントを1つのテーマごとに押さえながら解くことをおすすめします。

また、暗記系科目ではテキストやレジュメをただ読むのではなく、1度V問題集で解き、間違えパターンを頭に入れてから読むことで、効率よく知識をインプットすることが出来ると思います。さらに、インプット作業の手助けをしてくれるTACのフォローとして、私は、音声ダウンロードフォローをお勧めします。各講義をスマホに入れ、電車の移動やジムのトレーニングの時間などのスキマ時間を有効活用していました。音声なのでただひたすら、聞き流しているだけでも効果があります。公務員試験は、範囲が膨大なので音声ダウンロードフォローなどをうまく使って勉強することが大切だと思います。

▶論文試験対策

論文は、とにかくたくさん書いていろんな人に見てもらうことが重要だと思います。それぞれの人から頂いたアドバイスを参考に書き直しを繰り返し、自分の中で必勝パターンを身につけてください。また、白書や自治体のHP、新聞などを読み、常にあらゆる角度から、物事について考えることも大切です。どの課題に対しても出題者の意図を考え、それに沿った答えをしっかりと述べることも

論文で高得点を狙うには必要だと思います。

論文は、警察・消防の試験を勝ち抜くためには不可欠な科目だと思います。たとえ、教養試験で失敗しても論文で高得点を取れば逆転することも可能です。教養試験対策で大変だと思いますが、論文対策は後回しにせずしっかりと対策を行うことをお勧めします。

▶ 面接試験対策

面接試験で大切なのは、3つあります。それは、経験と自己分析、自治体研究です。可能な限り多くの方に模擬面接をしてもらい、自分は客観的にどんなところが優れていて、どんなところが足りないのかを率直に評価してもらうことで、本番でもそのアドバイスを活かすことができると思います。また、自己分析・自治体研究は、どれだけ深く、熱心に行ったかで、面接官に伝わる熱意の度合いも変わってくると思います。時間の許す限り、あらゆるイベントに参加し、現職の方のお話を聞き、ノートなどにまとめておくこともお勧めします。

面接は自治体によって、方式も時間も質問内容も大きく異なります。TACや先輩など多くの人に話を聞き、他の受験生より多くの情報をもって試験に臨むことで気持ち的にも余裕が生まれます。人生がかかった試験なので緊張すると思いますが、自分の抱えている熱い想いを存分に伝えられる場だと思って笑顔で楽しんで面接に臨んでください。

▶これから受験する人へのアドバイス

公務員試験は、最終合格を頂くまで大変長く辛い戦いです。それでも、合格を勝ち取った時の喜びは何ものにも代え難いものとなります。

長期戦を戦い抜くためには、とにかくモチベーション維持に努めることが大切だと思います。何度も説明会や見学に足を運び、現職の方にお話を聞いたりして、自分の将来働く警察官・消防官の姿をイメージし続けてください。そうすることで論文・面接対策にも活かせますし、入庁後の知識・経験にもきっと役立つことになると思います。

時には、成績が伸びず挫けそうになることもあると思います。そんな時でも、警察官・消防官になりたいと思った初心の気持ちを忘れずに、最後の最後まで諦めずに頑張ってください。

小川龍誠さんの保護者様の声

TACの先生方には息子が大変お世話になりました

警察官になりたい！という幼少期からの思いを叶えるために、必要なことはどんなことでも積極的に参加し取り組んできた息子でしたが、対策範囲の広い公務員試験だけは独学ではどうしても限界がありました。

そんな時に会ったのがTAC水道橋校でした。学校が近くWebフォローもあり、授業料も良心的であり、息子からの相談で即決でした。毎日毎日、休校日以外は時間が空けばTACに行き、3年生後半からは家にいるより、TACにいる方が長いのでは？というぐらい通っていたのではないのでしょうか…TACに行けない時は、部屋でWeb授業。先生方の生徒を飽きさせる事なく逆に夢中にしてしまう講義で、私も拝見しましたが、先生方の話術には何もわからない私まで引きこまれていました。

又、一番の課題であった論文対策。何度も何度もありとあらゆる題材に挑戦し、添削を頂くことで確実に上達しているのが目に見えてわかりました。公務員試験の中でも大きな割合を占め小論文の上達は、息子本人の自信に繋がり、本番前には何よりも得意でどんな論題でも大丈夫と言えるまでになっていました。面接対策では、お忙しい時間を割き、幾度となくやって頂けたことが更なる自信に繋がっていたと思います。

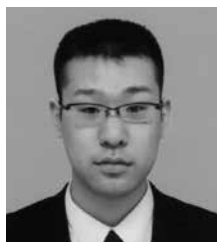
先生方の仕事を越えた熱意と信頼感、本人の隠れた力や性格を見抜き、個々に合わせた最良の声掛け・ご指導・アドバイス…不安定な心を励ましたり、時には叱ったりと温かく支援し続けて頂いたこと、本当に感謝です。

今までは親が一番の理解者だと自負しておりましたが、TACの先生方の驚くほどの確かな息子へのアドバイスには頭が下がりました。私ができることは、微々たるもので息子が目標を達成できるその日まで、体調を崩さぬよう、食事面でのサポートと安定した精神状態でいられるようにし息子の話を聞いてあげるくらいでした。

親とは違う視点で息子の人間力を磨き、成長させ合格へ導いてくださった先生方. . . 本当にありがとうございました。

*合格した喜びの声

「合格したよ！！」警視庁2次試験の結果が出るまで、毎日ポストを確認する日々。息子は平静を装っていましたが、私以上に気がじじなかったでしょう…全ての結果が出て最後に警視庁合格がわかったときのプレッシャーと不安から解放された息子の安堵の顔は忘れられません。



櫻井 智彪 さん
立正大学 法学部
(在学中合格)

警察官になるために

最終合格先

千葉県警察官 A・警視庁警察官 I 類

受講コース

1.5年総合本科生

メディア

教室＋Webフォロー講座

校舍

水道橋校

▶ 警察官を目指したきっかけ・理由

私が警察官を目指した理由は、幼いころからの憧れだったからです。幼いころから目にする警察官はカッコよく、私も警察官になりたいと思うようになりました。また、道に迷ってしまい警察官に道を尋ねた時の対応も私の進路にかなり影響しています。対応してくださった警察官はとても親切な方で丁寧に道順を教えてくださいました。私の中で警察官は厳しく犯罪を取り締まり、心身共に屈強なイメージがありました。しかしながらこの出来事がきっかけで警察官は屈強さをもつ一方で優しさも持ち合わせている人間であり、私もそのような人間になりたいと思い警察官を目指そうと思いました。

▶ TAC を選んだ理由

私がTACを選んだ理由は充実した様々な制度があるからです。例えば、通常3年生の4月から始まる講座を2年生からでも受講することができます。そのため長い時間をかけてじっくりと苦手科目を勉強することができ、克服することができます。また、TACは一次試験の突破ではなく最終合格を目的としているので面接練習や論文の添削などのサポートが充実しているのも大変魅力的です。面接対策や論文などは過去問を分析して作成されているため、より実践的な内容となっており本試験において十分な力を発揮できます。

私は2点しか制度を挙げていませんが、このほかにも担任制度やWebフォローなど合格を援護してくれる様々な制度が存在します。それらの制度すべてがTACの魅力であり、私がTACを選んだ理由です。

▶ 教養試験対策

公務員試験は多岐にわたる分野から出題されるため幅広い知識が要求されますが、それらをすべて丸暗記するのは非常に難しいと思います。なので私は基礎的な知識かつ頻出度の高い分野から重点的に、繰り返し学習しました。そのため演習や模試では点数の振れ幅が少なく、比較的安定して点数をとることができました。また、基礎を固めているため難易度が高い問題が出題されても問題の趣旨や解説を自分で理解でき、本試験までには難易度の高い問題にも対応することができました。

1日の勉強時間については2時間から10時間とかなり差がありました。これは本試験までの日数や大学の課題、私生活の予定等を勘案しその日の勉強時間を決めていました。あらかじめ計画を立てることによって無理なく勉強することができます。また、通学時間や授業、バイトの休み時間などの時間は暗記するのに最

適です。有効に活用することをお勧めします。

▶ 面接試験対策

公表されている点数配分からも理解できるように、警察官採用試験において面接はかなり重視されています。そのため私は面接練習を繰り返し行いました。練習の内容としては言葉遣いや志望動機はもちろん、入退室の仕方や着席時の姿勢、服装など様々な点に及びます。

私は面接練習を行うにあたって受験先の機関の情報収集とその整理に努めました。面接を受けるにあたって志望先の情報は不可欠です。なぜなら面接時に志望する部署や他の組織との違いを述べたり比較する機会が非常に多いからです。情報源としては説明会での業務説明や個別質疑応答、関係機関のホームページなどがあげられます。そのほかに新聞等の警察関連記事や時事ニュースも重宝しました。そしてこれらの情報は面接時の材料となるので整理して要約し、簡潔にまとめることもかなり重要です。まとめることによって面接時に簡潔に述べることができ、集めた情報を無駄なく有効に活用することができます。

▶これから受験する人へのアドバイス

勉強を継続的に行うことは公務員試験において大変重要である
 と思います。しかしながら勉強と同じくらい息抜きをすることも大
 切だと私は感じました。

公務員試験のための試験勉強期間は非常に長いです。毎日座って勉強しているだけではモチベーションが維持できず、勉強から逃げ出したり挫けそうになったりします。私自身も何度か挫けそうになったことがあります。そのようなときは1度ペンを置いて遊びに行ったり、仮眠をとったりと勉強のことを忘れて息抜きをすることをお勧めします。勉強と息抜きのバランスをうまくとることで質の高い勉強を長期的に継続することができます。

また、TACの様々な制度をフル活用することも欠かせません。私の場合は担任講師制度を利用して苦手科目の指導をしてもらったり、面接対策をしてもらったりしました。ほかにもWebフォローがついているのであれば通学中に講義の予習、復習も可能です。

皆さんも勉強と息抜きのバランスをとりつつ、使える制度はすべて使って合格を目指して頑張ってください。

櫻井智彪さんの保護者様からの声

本人が幼い頃から警察官を志していたため、大学2年生の後期という比較的早い時期にTACへ入校しました。当時本人は大学の講義やアルバイトのため朝が早かったり、夜遅くに帰宅するなどかなり不規則な生活を送っていましたが、TACの無理のないカリキュラムのおかげで学生生活と受験勉強とがうまく両立しているような印象を覚えました。また、うまく学生生活と受験勉強を両立できたことから、3年生後期までには単位修得を終え、直前期には受験勉強に集中することができていたと思います。合格にはもちろん本人の努力ということもありますが、なによりもTACの諸制度や講師陣の手厚いサポートがあったからこそ成し得たものであると私自身は考えています。そして、本人の長年の夢である警察官という職に来年から就くことができ、その結果に大変満足しています。



目標への歩み

最終合格先 神奈川県警察官 A

受講コース	メディア	校舎
入門総合本科警視庁 Plus	教室+Web フォロー講座 5月入学	立川校

▶ 警察官を目指したきっかけ・理由

警察官を目指した一番の理由は、小さい頃から憧れていた職業だったからです。幼い頃から剣道をやっていたことも大きな理由です。地元の道場で剣道を始め、剣道を通して警察官の方と関わる機会が多くありました。そのような縁もあり警察官がいつしか身近な職業になり、警察官として働きたいと思うようになりました。

▶ TAC を選んだ理由

試験勉強のために予備校に通おうとは思っていました。様々な予備校があり何を基準に選べばよいか分らず迷っていたときに、警察官になった先輩や同じ警察官を志していた友人がTACを紹介してくれました。その後TACの説明会に行き、充実した環境や、体験講義を通して講師の方の熱意に惹かれTACで学ぶことを決意しました。

▶ 教養試験対策

まず、一番大変であり、力を入れた科目は数的処理でした。勉強を本格的に始めた時期から毎日欠かさずに問題を解き続けていました。当たり前のことですが、とにかく過去問や練習問題などを繰り返し解いて、問題に数多く触れることが一番です。数的処理は一つ一つ時間をかけて丁寧に取り組みれば確実に点数に返ってくる科目だと思います。

また社会科学や人文科学などの暗記系の科目は、範囲が莫大であり、漠然と覚えようとしたら確実に覚えられません。もちろん全範囲を完璧に暗記するのは不可能に近いので、様々な結びつき、キーワード、語呂で覚えるなど自分が覚えやすい形を作ると、素直に頭に入ってきます。日本史などは大まかな年表や時代の流れを抑えると覚えやすかったです。

教養対策は科目や範囲が多く、中には難しい問題もあります。難しい問題に多くの時間を割くのではなく、得意な科目、範囲を少しでも増やせるようにコツコツ取り組むことが結果への一番の近道だと思います。

▶ 面接試験対策

公務員試験を受ける際、講師や先輩が口をそろえて言われていたのが、「面接試験が一番大切」です。実際に、本番の面接試験を受けた今ならその重要性について声を大にして言えます。いくら教養試験で高得点が取れても、面接試験の出来次第で不合格になってしまう人は多くいます。質問される内容に対する答えを適当に用意しておけば大丈夫だろうと思っていましたが、TACの講師

陣と本番を想定した模擬面接をやってみたところ、全く答えられなくて落ち込んだのを覚えています。答えられなかっただけではなく、声も小さく覇気がないとも指摘を受けました。実際に頭で考えるだけでなく、声に出して行った模擬面接は、体験しなければ自分では気が付かなかったことも指摘してもらえ、とても有意義な時間になりました。私は全部で4回受けましたが、もう少し時間をかけて対策をすればよかったと少し後悔しています。面接では、相手の質問に答えるのはもちろんですが、あくまでも人と人の会話であることを忘れてはいけません。用意してきた回答を一言一句話す場所ではなく、少し言葉に詰まっても、自分の熱意、思いを会話にぶつけることを意識すれば良い結果が得られると思います。

▶これから受験する人へのアドバイス

これからの学習は、泣いても笑っても自分の人生にとって大きな財産になると思います。教養、面接、論文など考えることが多く忙しい日々が待っています。焦りや不安、いろいろな感情が押し寄せてきます。常に目標を立ててコツコツと学習し、時には遊びに出るなどメリハリをつけることで自然とモチベーションが上がります。余裕を持ちすぎて遊びすぎると大変なことになりますが、ある程度心に余裕を持って臨んで下さい。

また、TACには充実した環境あり、素晴らしい講師の方々がい
ます。合格を目指している私たちの背中をこれでもかというくらい
押してくれるので、信じて学んで欲しいと思います。

最後になりますが、本当に最後の辛い時、自分を支えてくれるのは気合い、根性です。苦勞をせず合格はできません。面倒くさいこと、大変なことを乗り越えた先に結果が付いてくると思います。最後の一瞬まで自分が後悔することのないよう力を出し尽して頑張ってください。



目標に向かって

最終合格先 警視庁警察官Ⅰ類・千葉県警察官A

受講コース	メディア	校舎
入門付総合本科生監視庁Plus	教室+Webフォロー講座 4月入学	立川校

▶ 警察官を目指したきっかけ・理由

私は生後すぐに大きな病にかかり、沢山の人に助けられてきました。したがって、将来は、私が人々を助け、守りたいと考えていました。そして、将来のことを意識していた時期に尊敬をしていた先輩が警視庁の警察官になりました。私は先輩の体験談や警察官としての心意気を聞き、市民の安全を守る警察官こそが私のなるべき職業だと考えました。

▶ TAC を選んだ理由

警察官になると決めた私は合格の可能性を上げるため、予備校に通うと決めました。そして以前に資格の勉強で使用していたTACの参考書がわかりやすかったので、TACの説明会に参加しました。教材はもちろんのこと、講師の方の解説が丁寧で理解しやすかったので、迷わずTACに入校しました。

▶ 教養試験対策

TACに入校して半年は数的処理と文章理解を中心に勉強しました。数的処理は苦手意識がなかったので、すぐに理解をすることができ、V問題集を何回も解きました。半年くらいの月日をかけ勉強した数的処理は本番の直前で確認程度をただけで、直前期で焦ることはありませんでした。文章理解は毎日問題を解くことで、問題の解くスピードや正答率が上がりました。

しかし、苦手な暗記科目は受講してから直前期まで必死に勉強しました。Webフォロー制度を利用し、理解するまで受講し続けました。得点源にならなそうな科目については全く勉強しないのではなく、分かるところだけ勉強しました。

▶論文試験対策

私は文章を書くことが苦手で、公務員試験で論文が一番不安でした。

初めのうちはD評価ばかりで、論文の講義を受けることが非常に辛かったです。しかし、論文が書けなくてはどこにも合格することはできないので、一日一枚書き、添削をしてもらいました。そして、講義を重ねるにつれて、どのような形式で書けばよいかを理解することができ、次第にまともな論文が書けるようになりました。

論文は丁寧に沢山書けば書くほど、良いものが書けるようになります。苦手な方は早めに取り掛かることをお勧めします。

▶ フォロー制度について

入校当初は授業の欠席をするつもりはなかったので利用しなかったと考えていました。しかし、試験3、4か月前に差し迫った時、苦手な社会科目を克服するためにフォロー制度を利用しました。同じ講義を受講できるので、一回目と二回目では理解度に変化がありました。初めて聞いていたときには分らなかった所が、二回目に聞くと「そういうことだったのか!」と理解することが出来ました。分からないことは先生に聞くのも良いが、自分で考えて理解することも大切だと思います。

▶これから受験する人へのアドバイス

勉強を始める時期は人それぞれだと思います。早くスタートしたからといって試験の結果が良くなるものでもありません。重要なのは日々の積み重ねだと思います。毎日勉強することは苦痛になると思いますが、ライバルも皆頑張っています。TACの講師の方の話を良く聞き、努力をすればその分だけ良い結果になるでしょう。勉強ばかりではなく、気分転換に身体を動かすなどをして、勉強を継続させてください。



最大の敵は奥底にある自身の『ころろ』

最終合格先

神戸市消防局大卒程度・明石市消防局大卒程度

受講コース	メディア	校舎
入門付総合本科生	教室＋個別DVD＋Webフォロー講座 4月入学	池袋校

杉尾 浩平 さん
日本大学 法学部
(在学中合格)

▶ 消防官を目指したきっかけ・理由

私が消防職員を目指したきっかけは、中学時の職業体験です。一週間だけの体験だったのですが、消防職員の方々の行動、発言がとても格好よく感じ、私もこういう人になりたいと思いました。そして、大学に進学し、東日本大震災の被災地に行く機会がありました。行くまでは被災地の様子を映像でしかみたことがなく、他人事のように感じていました。しかし、その生の光景が、消防職員に絶対になってやるという強い気持ちにさせました。

▶ TAC を選んだ理由

TACともう一つの予備校と迷っていました。そこで、大学の先輩がTACに通っていて、試験に合格していました。「教え方がわかりやすく、施設もきれいで環境はいいよ」ということを聞いて体験講義に参加してみました。先輩から聞いた通りわかりやすく、ひとりひとり丁寧な対応で、自習スペースの環境も良かったです。また、友人も通っていたので刺激をもらいながら勉強できると思い、TACに決めました。

▶ 教養試験対策

まず数的処理が基本になります。どの科目よりも多く出題されるので自信がつくまでやりました。文章理解では、問題を解く感覚を忘れないように一日に文章理解3題、英語2題は必ず解いていました。神戸市は時事系が多いので大学にある新聞を毎日読んだり、時事のテキストを読んだりしていました。TACの問題集には上部に日付を書くところがあります。問題を解くごとに日付を書いて、間違えたところには付箋を貼って、解けるまで貼り続けていました。一日のうちにできるだけ多くの科目に触れるようにしました。

▶論文試験対策

論文の授業を基礎としました。その中でも構成が重要だと思いました。構成が確立していると、読み手は読みやすいと思います。さらに字を大きくきれいに書いて、多くの人に自分の論文を読んでもらい、様々な表現法を学ぶのがいいと思います。私は、TACの提出ボックスと担任、大学の先生を活用しました。同じ論文でも先生によって視点が違い、新たな発見ができると思います。書くのが慣れてくると、手書きの論文を2枚ほどコピーして、いろいろな人に添削してもらいました。

▶ 面接試験対策

対策は、過去に私が何をしてきたのか、消防に対する想い等を紙に書き、自分の過去をストーリーとして頭の中に描きました。また、私の弱さ、失敗をどう乗り越えてきたのかを入念に絞り出しました。私は相手に良く見られたいと思う感情がありました。そういう感情をいかになくし、さらけ出し、伝えられるかが面接でのカギでした。その後、TACの担任や大学の先生に模擬面接官をしてもらいました。そして、面接官との意思疎通を図ることを意識しました。面接官は敵ではなく、これから一緒に働いていく可能性があります。恐れることはないと思います。私は、面接官を困っている市民だと思いながら優しく話すように心がけました。目をキラキラさせて会話を楽しんでください。

▶これから受験する人へのアドバイス

私はUターン就職をしました。東京消防庁は受験せず、神戸と明石の二つだけです。二つの自治体しか受けないのはかなりのリスクがありましたが、私はこの選択肢でよかったと思いました。なぜなら想いがとても熱くなるからです。将来、転職する人もいるかもしれませんが、それがなければこれから先、自分が身を寄せる場所が志望先になります。これからそこで納得して働いていけるのが重要になってくると思います。妥協せず、自分が働きたい志望先に焦点を当てて、心残りがないように頑張ってください。

つらいときは必ず訪れると思います。勉強に飽きたり、みんなが遊んでいるのが羨ましくなったりすると思います。そういう思いになったときは、一度勉強から離れたほうがいいかもしれません。試験二か月前とかの直前にはよくないですけど。気持ちを切らさずずっと保つのは難しく、保てたとしても効率が悪くなると思います。友達や家族、TACの担任の先生にたくさん相談したほうがいいと思います。そうすると気持ちが楽になります。自分で抱え込まないようにしてください。この受験は気持ちが大きく左右されると思うので、なりたい自分を思い描きながら取り組んでください。理想像を持つことで、面接では熱い想いを面接官に伝えることができます。試験を怖がらず楽しんでください。楽しんだもの勝ちです。慎重かつ大胆に！筆記も論文も面接も反復練習です。長期戦になるとは思いますが、あきらめずに乗り越えてください。



夢への第一歩

最終合格先

大阪市消防局消防吏員 A

受講コース	メディア	校舎
入門付総合本科生	教室+個別DVD+Webフォロー講座 4月入学	京都校

末吉 達哉 さん
近畿大学 法学部
(在学中合格)

▶ 消防官を目指したきっかけ・理由

幼い頃からの夢だったのが消防官でした。私の母は看護師をしていたのですが、その母から災害現場などでは第一救命処置が要救助者の命を救うと聞き、その第一線で活躍する消防官にあこがれて消防官を目指したいと思いました。また、私が大学2回生のときアルバイト先で小火が起きたことがあったのですが、その時私は何も出来ずにいました。でもその時にかけつけて来てくれた消火隊の人たちのお陰で最小限の被害で食い止めることが出来ました。その消防官の活躍を直接目で見て、より一層消防官になりたい気持ちが強くなりました。

▶ TAC を選んだきっかけ

大学3年生になり本格的に消防官になるための勉強を始めなくてはならないと思ったのですが、自分ひとりでは絶対に勉強できないと思ったのでどこか予備校に通おうと考えました。その中でも、インターネットで一番評判の良かったのがTACでした。そのTACのHPの中で警察官・消防官担当講師のガイダンス動画を観てこんな講師がいるなら私も頑張って勉強が出来ると思い、TACに通うことを決めました。TACではDVDでの講義と教室での講義が両方受けられるので、万が一休んでしまっても安心でした。第一志望に合格した今、やっぱりTACに通ってよかったと思っています。

▶ 面接試験対策

面接で合格するためには、まずしっかりとした面接カードを仕上げるのが大切だと思います。そのカードに沿って質問もされるので、その完成度で面接が決まるといっても過言ではありません。カードの内容は先生に何度も添削してもらいました。そのお陰でこれなら安心して面接に挑めると決心できるほどの内容に仕上がりました。面接本番に関しては、堂々と答えることが出来れば大丈夫だと思います。消防官の面接に関してはそこまで時事問題のことも聞かれませんでした。最後は絶対に受かるという気持ちが大切です。

▶ 苦手科目の克服法

私は以前から数学が本当に苦手でした。それでも、消防官の試験には数的処理という科目が最重要といっても過言ではありません。学習を開始した頃は問題集の最初の問題からつまづきました。必死に自分なりに考え答えを出し、解説をみて、それでも分からなかったら先生に質問をするということを繰り返して、少しずつ解けるようになっていきました。最終的には、V問題集を10周は解いたと思います。V問題集が完璧になると、もう一つ新しい問題集を買ってやっていました。そのくらいやれば苦手だった数的処理でもしっかりと点数を稼ぐことが出来るようになりました。暗記科目については講義の音声をはたすら聞いたり、レジュメの重要な部分を隠して完璧に覚えられるまで繰り返したりしました。

▶これから受験する人へのアドバイス

とりあえず最後まで諦めない気持ちが必要だと思います。私も勉強は大嫌いでした。それでも勉強を続けてこられたのはTACの講師や同じクラスで勉強した友達がいたおかげだと思っています。遊ぶときは遊んで勉強するときは勉強する。そのオンとオフの切り替えをしっかりとすることで嫌な勉強も続けることが出来ると思います。勉強していて、必ず諦めそうになるときが来ると思います。そのときは、絶対自分は消防官になるんだという強い気持ちと諦めない気持ちを持って一生懸命に取り組んでいってほしいです。



憧れの実現のために

最終合格先

長野県警察官 A・警視庁警察官 I 類

受講コース	メディア	校舎
総合本科生警視庁Plus	教室＋Webフォロー講座 10月入学	立川校

▶ 警察官を目指したきっかけ・理由

警察官の仕事への憧れです。凶悪な犯人に果敢に立ち向かう姿や子供に優しく対応している姿を見て、国家や国民の安心、安全を守る仕事に魅力を感じました。

また、最近は特殊詐欺やサイバー犯罪が増えてきており、新たな対応が求められてきており、そこに自分の得意分野などを活かせるのではないかと考えたのも理由の一つです。

▶ TAC を選んだ理由

独学よりも予備校に通ったほうが勉強のペースも作りやすいし、勉強以外の対策もしやすいと考えて色々な予備校のパンフレットやホームページ、体験講義などを受けてきました。その中でもTACは他の予備校よりも合格実績が高く、また説明会での対応や授業の質が高いと感じました。ここで頑張っていくのが一番いいと感じたのが理由です。

▶ 教養試験対策

教養試験は数的処理が多く出題されるので、そこに一番力を入れて学習しました。数的処理は、繰り返しやることで段々と解き方がすぐに頭に浮かんでくるようになってきます。数的処理は落とすと点数に非常に響いて来るので、最重要でやりました。しかし、数的処理は基本全員が重要視しているのでそこではあまり点数差が開きません。その点数差が合格するかしないかの差になることもあります。そのため、覚えさえすれば点が取れる社会科学や自然科学なども重要視して勉強しました。暗記科目は回数を重ねて覚えていくことで確実に知識となるので繰り返し、レジュメや問題を解いて覚えました。また夜、寝る前にやったことが覚えやすいという話も聞いていたので、暗記科目は夜寝る前によくやっていました。

また私は勉強時間を逐一記録して、どれだけ頑張ったかが見えるようにして、モチベーションを上げていました。直前期は問題を解けるだけ解いて、問題に慣れるようにしていました。本番でどのような問題が出ても対応できることを目標に対策していました。

▶ 論文試験対策

論文試験は受ける自治体によって出しやすいテーマがあります。そのため、過去の出題データなどを調べ、出そうなテーマを絞りました。また、論文は構成や書き方がしっかりしていないと減点対象になってしまうため、その点を授業やレジュメなどでしっかりと学びました。論文は書くことに慣れるのが大切なので、できる

だけ多く書くようにしました。書けば書いただけ上手になっていきます。また、内容によっては時事などの知識がないと十分に書くことができないテーマが出ることもあります。そのような問題が出ても対応出来るように、時事対策も非常に重要になります。私は、新聞やニュースなどを普段よりもよく見るようにして、対策をしていました。

▶ 面接試験対策

面接試験対策はできるだけ多く模擬面接を受けて、面接というものに少しでも慣れるように対策しました。しかし、面接は面接官との会話なので、文章の暗記では絶対ダメです。

自分の考えをしっかりと持っておき、それを試験会場でしっかりと伝えられるように対策をしていくといいと思います。また、マナーや言葉遣いなども面接対策講義や模擬面接でしっかり習得するといいと思います。

▶これから受験する人へのアドバイス

継続することが大切です。「継続は力なり」です。試験対策は時間がかかります。長い時間、試験勉強を続けていると辛くなって来る時期が出てくるかもしれません。それでも少しでも毎日何かしら勉強してください。期間が空いてしまうと、その後が続きにくくなります。息抜きすることも重要です。一日休みにして遊びに行くこともあるでしょう。それでも寝る前の5分でも10分でも何かしらするだけで継続させやすくなると思います。試験対策はやればやっただけ力がつき、それと同時に合格の可能性も上がってきます。TACの教材と講師を信じて悔いの残らないよう最後まで頑張ってください。



短期間でも勉強時間と気持ちで追いつけます

最終合格先

東京消防庁消防官Ⅰ類・仙台市消防局大卒程度

受講コース	メディア	校舎
総合本科生東京消防庁Plus	教室+個別DVD+Webフォロー講座 11月入学	横浜校

▶ 消防官を目指したきっかけ・理由

東日本大震災で被災したとき、レスキュー隊が必死に人命救助に当たっている姿や避難所で女性消防官が被災者の方々の話に耳を傾けている姿を間近で見たことで、消防官は様々な方法で人を救えると感動したことが目指したきっかけです。民間企業に就職するつもりでしたが、いざ就活を始めてみると本当に就きたいと思う職業を目指すのが一番と思い、消防官を志すこととしました。

▶ TAC を選んだ理由

私は消防官を目指すことを最終決定したのが、4年生の11月という周囲より非常に遅いタイミングでした。そのような中初めて行った体験講義がTACで、今からでも合格できるような力を付けられるというお話を伺ったので、そのままTACに入会することを決めました。

▶ 教養試験対策

上述したとおり、私は入会した時期も遅くそこから勉強を始めたため、春休みは1日13時間程度勉強することを続けました。

特に数的処理や自然科学が非常に苦手だったため、毎日継続して解きました。最終的にはV問題集は6周以上解いたと思います。また捨て科目を作ことはあまりお勧めされませんが、勉強できる時間も限られていたため、空間把握と資料解釈の分野は早々に捨て、V問題集は解かずにレジュメの内容だけを繰り返して完璧にしました。逆に英語と文章理解は得意だったので、その教科は一切勉強しませんでした。

公務員試験は範囲が膨大です。私のように入会時期が遅い人は特に、得意・不得意を早くに見極めて、捨てるのか伸ばすのか等自分なりに問題の解き方について判断できるというのではないかと思います。

▶論文試験対策

私は毎週土曜日に論文を1本仕上げることを自分の中で決めていました。そして絶対に書いたままにせず、添削を受けるようにしていました。自分ではできたと思った論文でもC判定が来ると落ち込みますが、見せずに自己完結するよりもアドバイスをもらったほうが圧倒的に成長することができるので、積極的に添削を受けたほうがいいです。

論文課題は何か出るか予想するだけ無駄なので、様々な論題に挑戦しておくべきです。私は似たような論題は省いて、色々な論題を解くようにしていました。今年のような突飛な論題が出ると焦り

ますが、今まで添削してきてもらったことを活かせば、周囲より安心して書けるはずです。私は本番のときに、今まで書いてきた論文の中で高評価のものをお守り代わりに持っていました。

▶ 苦手試験克服法

私は数的処理と自然科学が苦手でした。しかし東京消防庁を受験するにあたり、それらの科目は絶対に捨てられないので、毎日継続して勉強しました。また、わからないことがあった場合はすぐに先生のところに持っていって質問をすることをお勧めします。自分なりにメモを取って何度も復習して解きなおせば、他の問題にも解き方を活かせるようになるはずです。他にも、大学でその分野が得意な友人に教えてもらうこともしていました。

どうにもできないときや、勉強する時間がこれ以上取れないときなどは捨ててしまうのもありかもしれません。もちろん全部ではなくて、最低限だけは解けるように要点だけ完璧にするという感じです。私は空間把握と資料解釈をその方法で乗り切りました。

▶これから受験する人へのアドバイス

TACでは講師が一生懸命教えてくれ、自習に集中できる環境も整っています。勉強がつらいと感じたら、講師に相談してみるのもいいと思いますし、他の人が勉強している姿を見て刺激を受けるのもいいと思います。本当に消防官・警察官になりたいと思っていれば、将来の自分の姿を想像して頑張れるはずです。

私は勉強を始める時期も遅く、学校のゼミ活動も忙しく、焦りもあり何度も挫折しそうになりました。私と似ている環境の人は、その焦りを原動力に変えて、絶対に今回で合格してやるという強い気持ちを持ってほしいと思います。最後まで諦めずに勉強すれば必ず合格できます。



継続は力なり

最終合格先 千葉県警察官 A

受講コース	メディア	校舎
入門付総合本科生東京消防庁Plus	教室+Web フォロー講座 4月入学	池袋校

▶ 警察官を目指したきっかけ・理由

私は幼い頃から公安職に憧れがありました。その中で警察官を選んだ理由は、親しき友人が通学途中に傷害事件に巻き込まれたのが大きな理由です。

被害に合われた方はとても辛く怖い経験をしたにも関わらず、自分の夢に向かって懸命に努力をしていました。そんな姿をみて私は、この人のように健全に暮している人たちを身近で守れる仕事に就きたいと思い警察官を志願するようになりました。

▶ TAC を選んだ理由

私は、公安職に就くことだけを考えていたので、民間企業への就職活動は一切しませんでした。その為公務員対策が充実した予備校を探しました。

しかし、納得のいく予備校が決まらず自宅からは遠いが、TAC池袋校を見学することにしました。そこで出会った講師にTACの利便性を赤裸々に教えて頂き他の予備校と比較した結果、TACが一番環境が良いと思ったのでTACで頑張ろうと思い入会しました。

▶ 教養試験対策

教養試験の対策では復習がとにかく大事だと頻繁に耳にしていたので復習に力をいれました。帰りの電車や就寝前の時間に携帯をいじりたい気持ちを堪えレジュメを見直し、次の日にはノートに大事な部分を書き写し脳に定着させるように務めていました。しかし、教養の大幅な割合を占める数的処理に関しては自分だけの復習だけではなく担当講師にみて貰うことを強くお勧めします。

直接講師にみてもらうことで自分にかけている能力が見えてきて、より良い状態で授業や復習に力を入れることができるからです。講師にみて貰うことは勇気のいることだと私は思います。しかし、聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥という言葉があるように分からないまま先に進まないで講師や勉強が得意な人に沢山質問するようにしてください。それが合格に近づく一つの方法です。

▶ 論文試験対策

担当講師から論文の重要性を聞いていたので受験終盤では毎日一枚書いていました。論文で大事なことは構成力だと思います。構成は論文の土台となるものなので最初のうちは時間をきにせず最初の構成に時間を費やして書いてみてください。そして、ある程度なれたら色々な人にみてもらうようにしましょう。

見てもらう時の注意点ですが、論文に正解はありません。その人の言葉が絶対に正しいわけではありません。最終的には自分が

良いとおもった言葉を書くものが論文試験です。つまり、私が言いたいことは言葉の引き出しを沢山増やしてほしいということです。我々より長く生きている先輩方が問われている問題に対しての考え方を聞くことは非常に参考になることばかりです。もし、自分には合わないとおもったならば反面教師として、そうならないためにどうするのかを考えれば貴重な材料となります。是非参考にしてみてください。

▶ 面接試験対策

私は計4回面接練習に励み警視庁と千葉県警察を受験しました。結果は警視庁では二次で不合格、千葉県警察は合格を頂きました。その差はなにか自分なりに考えるとやはり面接が大きな要因だと思いました。

双方の大きな面接の差は、自分自身の欠点な部分を伝えたかどうかです。合格した千葉県警では欠点な部分を伝えました。

面接官も人間なので人の自慢話を聞くよりも失敗した話や恥ずかしかった話をきいてその人に共感できるものだと思います。

だからこそ、これから受験する人たちは自分の欠点を恐れずに伝えることも一つの手かもしれません。

▶これから受験する人へのアドバイス

私は、勉強が本当に苦手です。TACの基本演習などを受けても結果は中の下辺りをさまよう程度でした。そんな私が、内定を頂いた最大の理由は自分が他の受験者に勝るところはどこかを常に考え努力したからだと思います。

勉強というものは元々もったセンスがすくなくからずあるのは事実だと思います。

しかし、なかには知っていれば簡単に解ける問題や努力すれば点が伸びる分野もあります。そこをいかに見つけるかが重要だと思います。

最終の発表まで辛く厳しい時間が続くとおもいます。合格を勝ち取るためには自分自身を見つめなおして頑張るしかありません。健闘を祈ります。



いざ行かん警察へ

最終合格先 警視庁警察官Ⅰ類・京都府警察官A

受講コース	メディア	校舎
総合本科生	教室講座 6月入学	京都校

▶ 警察官を目指した理由

幼い頃から憧れていたことに加え、仕事を選ぶ上で「目の前の人の役に立ちたい」という思いから警察官を目指すようになりました。ほかにも人の役に立つ仕事はたくさんありますが、体を動かすことやあくまでもお金儲けのための商売ではないという点も私には合っていました。単純にかっこ良いですしね。(笑)

▶ TAC を選んだ理由

怠けてしまいそうで独学や通信ではなく、予備校に通うということは決めていました。説明会を聞きに行き熱心に答えてくれたことやフォロー制度が充実していたこと、TACの立地も私には良かったです。また、担任講師が試験の情報や勉強方法などに詳しいので、相談すれば大変頼りになる存在だったことも大きかったです。実際担任講師に相談をして良かったです。

▶ 面接対策について

面接は筆記や論文と違い、柔軟性がより重要だと私は考えます。志望動機など就職における根本的な質問は暗記するくらい考えたり言ってみたりすると思いますが、こういった質問も柔軟に伝えられるようにするべきです。暗記したけど、当日途中で詰まってしまって何も言えなくなったなんて最悪です。一言一句覚えるのは止めましょう。また、一次試験が終わってからですが、日頃からこういう質問にはこう答えようかな、こう答えたらこんな質問がくるかな…と考え、まとまったらメモしていたことが役に立ったと感じています。面接対策テキストを見ながらも、頭の中で、一人で面接風の会話をすることが私の柔軟性を生み出したと思っています。TACでは模擬面接が出来、当然2、3回利用するのは前提ですが、実際の面接時間をもっと長く、TACの模擬面接で面接が完璧になりました!というのは正直無理かなと私は思います。根本的な質問に対する回答や自分の緊張する度合い、姿勢・態度が客観的に見てどうなのかを見てもらえば十分でしょう。もちろん講師は皆さん優秀なので模擬面接だけでなく、質問時間に面接について聞くのも大いに役立ちました。

▶ 苦手科目の勉強法

試験の範囲はとても広く、苦手な科目がない人はほとんどいないでしょう。数的処理と文章理解は出題数が多く、ある程度解けるようになれば得点源にもなるので、数をこなして最後まで諦めずに練習するべきでしょう。数的処理に限って言えば、苦手ならV問題集10周解くくらいの気合は持ってください。数をこなせば何

か見えてきます。その他の科目については、いっそのこと捨てる勇気をもっていいでしょう。完全に捨てても良い科目もあるかもしれませんが、その科目の基礎中の基礎だけは覚えるというほうが、効率が良い気がします。もちろん捨てた分は他の得意な科目で絶対取るというのが大前提ですよ。本題の克服法ですが、苦手科目について何が分かっているのかを自分が理解しているのかが重要だと思います。公式を覚えていないのか、勉強時間が足りないのか…。何が分からないのかが分からないのであればすぐ講師に質問しましょう。何度でも質問してください。分からないことが分かればどう勉強したら良いのか分かるはずですよ。克服をしたのなら、数と質問です。

▶これから受験する人へのアドバイス

試験勉強を始める時期は早ければ早いほど良いです。しかし、やる気と根性があれば受験する年の1月から勉強を始めて合格した人もいますし、いつから始めてもやれないことはないと思います。1月からで良いというわけではなく、おそらく皆さんは早めに試験勉強を始めるでしょうから、十分間に合うということです。部活やアルバイトなどで忙しい人もいるでしょう。でも私の周りの試験仲間を見ればそんな人ばかりですが、しっかり合格しています。不安になるぐらいならそんなことは考えずに勉強しましょう。TACにしっかり通い、担任講師に自ら質問しにいけば、おのずと受かる実力は付いています。将来を決める大事な試験です。健闘を祈っています！



受講コース	メディア	校舎
総合本科生東京消防庁Plus	教室+Webフォロー講座	立川校

講師、仲間とともに

受講コース	メディア	校舎
東京消防庁本科生	教室+Webフォロー講座 12月入学	横浜校



池田 康太 さん
甲南大学 法学部
(既卒)

挑戦

最終合格先 山口県警察官 A

受講コース

総合本科生

メディア

DVD 通信講座

校舎

▶ 警察官を目指したきっかけ・理由

高校・大学でのラグビー部で支えられた経験から、私も人を支える仕事がしたいと思っていました。しかし就職活動時は、なんの仕事がしたいのか明確になっていないまま民間企業を中心に行っていたため、悩みながら行っていました。そんな時に、大学4年時に警察官に勇気づけられたことをきっかけにして、私も警察官となって住民の方の支えになりたいと思いました。また、7年間のラグビー部での経験や長所を活かし、地元山口県のために貢献したいと思い、山口県警に決めました。

▶ TAC を選んだ理由

上述した警察官を目指したいと思った時期は夏頃で、昨年は受けることができませんでした。内定をいただいていた企業があったのですが、警察官になりたいという思いが消えなかったので、両親とも話し合い内定を辞退して就職浪人の決断をしました。そこで今年絶対受かるために両親とも相談し公務員学校に通うと決めました。TACに通われていた方から話を聞いたり、神戸校に行き体験授業や受付の方と何回も相談させていただいて真摯に対応していただいたことから、TACに決めました。部活を引退後は山口に帰ることが決まっていたので通信にしましたが、授業もわかりやすく面接対策も通学の方と同様に受けていたので特に不便はなかったです。TACに通ってよかったと思っています。

▶ 論文対策

山口県警は少年非行やDVなどいま社会問題になっているようなことが問われます。40点満点で字数は800～1000字程度です今年は自転車を利用する上での問題と対策でした。論文は実際に何回も書いてみることが大事だと思います。県警のホームページに警察の活動内容が書いてあるので、それを中心に項目を10個ぐらい書きました。書いて添削してもらい、やり直してを繰り返して自分の書き方を固めていました。本試験では、やっていた中の自転車が本番で出ました。幅広くやっておくと試験前に自信を持って試験に臨めると思うので頑張ってください。

▶ 面接対策

山口県警の試験では、面接・集団討論で、140点満点なのでここが1番大事だと思います。集団討論は積極的に参加すること 相手の方を向いて傾きながら、しっかり相手の話を聞くことが大切かなと思います。私は、本番ではメモはあまりとらず相手の話を聞いて、それを理解し適切な意見を言うことを大切にしました。面接は個人面接で20分程度で、1対4でした。基本的に面接カードの中から聞かれます。面接で大切なことは相手の目を見て大きい声で、自分の言葉で思いを伝えることだと思います。私は昨年受けてないこともあるので、圧迫面接で詰まることも少しあったんですけど端的に面接官と会話をする感じで自分の言葉で正直に話すことが改めて大事だと思います。山口県警を受けた後輩は圧迫面接じゃなかったみたいです。私は面接練習は、何回も自分に自信がつくまでしっかりやった方がいいと思います。本番では一回全部忘れ

て面接官をいい人と思って、自分に自信を持って頑張ってください。

▶ 筆記試験について

私は筆記試験では捨て科目も作ってましたが、その分他の科目を徹底的にやっていました。これが正しいかはわかりませんが、参考にしてください。世界史 化学 物理 古典 文学 芸術は捨てました。数的処理は最初の頃はかなり苦手でしたが、1番重要な科目なので授業を受けて復習と実践の繰り返しを何度も繰り返しました。わからなくなった時は、もう一度授業を受けてインプットとアウトプットを繰り返し行いました。問題はTACでもらった問題を何度も何度も繰り返し、パターンと解き方を覚えていきました。最初は苦勞する人も多いと思いますが、私の場合は2.3ヶ月続いていると急に解けるようになり、本番でも9割は解けたと思います。数的処理は本番では解く時間がかかるので、日頃から、時間を決めて取り組むことが大事です。例えば1時間と決めて本番と同じように、数的推理5問 判断推理6問 空間把握3問 資料解釈2問に取り組んでみることも大事かなと思います。文章理解は英語が苦手だったので、現文に力を入れてました。英語は県警は警視庁とかに比べて短文なので、得点しやすいと思うので取れば大きいと思います。暗記科目については、基本的に授業を受けて問題も解いての繰り返しです。何回もやっていると回答を覚えてくるので、そこまでやれば意味があまりないと思ったので、レジュメの語句を徹底的に覚えてました。私が取りやすいと思ったのは、政治 法律 経済 思想 地学 生物 日本史です。自然科学は文系で物理 化学は全くわからなかったで捨てました。地学も始めてで、一問しか出ませんでした。範囲も狭くほぼ暗記なのでやれば取れます。人文科学は、基本的に高校の時にやっていた科目を始めにやることをオススメします。私は日本史をやりました。人文科学は本当に範囲も広いので深入りしないということが大事です。私は時代ごとにまとめて、重要なことは覚えてあとは流れを大切にしました。思想は一問ですが、範囲が狭いので得点しやすいです。地理は重要などこだけ覚えてました。私は英語が苦手だったので、地理 日本史に取り組みましたが、その他の科目でカバーできるならここは一つでもいいかなと思います。試験当日から逆算して、その科目の配点と何で点を取って何を捨てるかということを考えることが大事かなと思います。

▶ これから受験する人へのアドバイス

山口県警の最終合格は2次試験の結果で決まります。上記で、面接筆記 論文について書かせてもらいましたので、ここでは体力について書きます。体力テストは60点満点です。上体起こし 反復横跳び シャトルラン 握力 関節運動があります。関節運動は正しく動くか確かめる程度です。シャトルランは100回で満点です。私は22人でやって、100回まで行った人が私を含め5人だけだったので、シャトルランで1番差がつくかなと思います。他のグループも最後まで行った人はそのぐらいだと聞きました。上体起こし 握力 シャトルランは毎日継続してトレーニングすれば、必ず力はつくと思うので頑張ってください。

Memo